

神奈川県 孫育て講座 報告

対象：孫育て中の方、孫育て予備軍の方、地域の子育て支援に関心のある方

会場：神奈川県地域子育て支援拠点かなーちえ

主催：神奈川県地域子育て支援拠点かなーちえ、共催：神奈川県・こども青少年局

【第1回目】

日時：平成26年11月21日（金） 10:00 ～ 12:00

講師：NPO法人孫育て・ニッポン代表 棒田明子氏

内容：学んでスッキリ！今ドキの子育てを知る！

<報告>

男性1名を含む7名の参加がありました。はじめに二人ひと組で互いの話を聞き合うワークを行うと、参加者同士が一気にうちとけた雰囲気になりました。人に聞いてもらえる体験は、祖父母世代にも大切だということがよくわかります。講師から、祖父母の時代と今の子育てで変わったこと・変わらないこと、子育て世代への寄り添い方などが、わかりやすく説明され、参加者の胸に響いていきます。祖父母世代の悩みやモヤモヤも、みんなで意見を出し合い、講師が解説を加えることで、ひとりひとりの気持ちの中にストーンと落ちていきます。「子どもが親以外の人にほめてもらう機会が減少している現代だからこそ、多様な人間と接する“ななめの関係”が大切。」 「自分の孫だけでなく、多くの人が関わって、他人の孫も可愛がる“他孫育て”が、子育てにやさしい地域を作り、ひいては自分の孫の幸せにつながる」という講師の言葉が心に残りました。学びと和やかな交流が、祖父母たちの笑顔をいっそう引き出す時間になりました。



【第2回目】

日時：平成26年12月19日（金） 10:00 ～ 12:00

講師：かなーちえスタッフ

内容：今ドキの子ども遊び環境って？

<報告>

みんなで知っ得！神奈川県の孫さんぽマップアイスブレイクタイムでは、「ふるさと子供グラフィティ・原賀隆一著クリエイト・ノア刊」を皆で開き、イラストで描

かれた豊かな子どもの遊びの原風景を見ながら話に花が咲きました。続く、スタッフによるワークショップの始まりは、日本の青少年の自己肯定感が低いデータを紹介する紙芝居。“子どもの生きる力をどう支えていくのか”という視点から、遊びのもつ力を、祖父母世代が伝えていく大切さを考え、語り合いました。参加者1人ひとりの子ども時代を簡単に絵に書いて交流するワークは、笑いがいっぱい。同世代だからこそ分かち合える時間の醍醐味です。ひと言感想からは「昔と今の違いがわかった。“ゲームはどうなの？””と”思っていた。自分の体験を伝えていきたい」「自分の孫育てから、町の他孫育てに関わっている。この大らかさを伝えていきたい」などが寄せられました。

【第3回目】

日時：平成27年1月16日（金） 10:00 ～ 12:00

講師：かなーちえスタッフ

内容：孫のキモチに寄り添う

<報告>

最終回は、「孫のキモチに寄り添う・自分のキモチを手のとる、コミュニケーションのヒント」をテーマに、かなーちえスタッフがワークを担当。まずは、「聴くを体験ワーク」。2人1組になって、“私が今はまっていること”について、互いに2分ずつ話してもらいます。聴く方は、ただ肯く、相づちを打つのみ。終了後の感想では、「つい、相手の話にのってしまいそうになった」「相手の方が、柔らかい表情で聴いてくださるので、話しやすかった」等。続くお手玉を受けとめ合うワークと合わせて、祖父母ならではの、ありのままをただ受けとめる事の大切さを実感いただきました。後半は、ひろばに遊びに来ている3組の母から、祖父母世代と付き合う上で今困っていることの本音を聞かせてもらう、ナナメの関係での意見交流。祖父母の輪が広がりました。来年度に向けて、野外遊びの魅力を伝える講座のリクエストがあがるなど他孫育て世代のパワーが地域に広がりそうです。